

第2回府中市保健計画推進協議会

日 時：平成28年11月4日（金）

午前10時～11時半

場 所：東京都健康長寿医療センター

■出席者

委員：藤原佳典

（学識経験者・地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所）

事務局：福嶋成人保健係長、神田保健師

■趣旨

第1回協議会で委員よりいただいた意見を参考に、事業を実施しており報告が中心となるため、事務局と会長との打合せをもって第2回の協議会開催に代えるものとする。

■内容

1 ノルディックウォーク大会について【資料1、2、3】

【事務局】平成28年11月17日（木）午前9時半より健康応援ウォーキングマップの総合体育館コースでノルディックウォークを実施する予定。定員100名で現在申し込み受付中。ノルディックウォークで効果的に有酸素運動だけでなく、第2次健康ふちゅう21の重点取組「健康危機に備える」

にもある、災害時に自力で非難できる体力づくりという面も合わせて計画している。災害時などの備えについてポスター掲示やチラシと非常食の配布を行い、啓発する予定。

【委 員】申込者人数、年齢層は？

【事務局】サポーター含め約60名、60代、70代が中心。

【委 員】今後の参加者拡大を図るため、タイトルを『脱メタボ』だと年代が限られるため、他の年代も応募しやすい内容にするとよい。

子育て中の方が、最近はおんぶするスキルがない人が多いので、おんぶをしながらできる体力づくりとして、ノルディックウォークは適している。

【委 員】サポーターの役割は？

【事務局】地域のつながりを強化するという目的で、参加者同士で自己紹介をする時や、各自ウォーキングの時などつながりが持てるよう率先して声かけをお願いしている。その他にもポールの長さ調整やコースのポイントに立ってもらするなど色々な役割がある。

2 サポーター養成講座について【資料4, 5】

【事務局】 健康増進事業の推進を市とともに行う人材育成を目的として実施予定。ノルディックウォークを通じて人と人とのつながりと健康づくりについて学び、今後の活動に活かしていく。40人程度の定員とし、8月に行った元気いっぱいサポーターのアンケートで、「養成講座に興味がある」と回答した人にハガキで案内。また、1月17日のノルディックウォーク大会の事前送付に同封。当日に案内を行い、健康づくりに関心の高い人へ直接PRしていく。

1月12日（木）午前、1月25日（水）の2日間で実施予定。1日目の講義で、府中市の健康づくり施策とサポーターに期待することと、藤原会長にまちぐるみの健康づくりについて講話いただきたいと考えている。

【委員】 内容については、概ね良いと思う。

12月にも志木市で同様の養成講座を行う予定。参考にして、検討してみても良いのでは。

3 団体サポーターアンケート【資料6】

【事務局】 現在登録のある31団体に現状と活動状況を確認するため実施する。今後のサポーター活動を継続するか、団体として市の事業の企画運営に興味があるか等新たな質問項目として設定する。結果については、第3回協議会に結果を報告する。

【委員】 発送時期はいつか。

【事務局】 11月中に発送して、12月中旬に回収する予定。

【委員】 問10は自主グループのみの回答となっている。企業等の団体でも、その中にグループがあり、そのグループがサポーター団体登録していることも考えられるため、全ての団体に聞いた方がいいのではないか。設問も「受け入れていただけますか」ではなく、「募集していただけますか」にすると良いのでは。

【事務局】 色々な団体が登録しているので、幅広く答えやすい設問にしていきたい。

【委員】 団体の誰が記載したのか、どの立場の人なのか等、現在の団体の情報は入れた方が良い。

【事務局】 団体登録してから長い時間経過している団体も多いので、団体の代表者や、年齢や性別の構成等も確認していきたい。

【事務局】 また、今後登録継続の有無も確認し、登録を抹消する意思であれば、以降の設問は回答不要として、登録状況も整理できるようにしていきたい。

【委員】 団体サポーターにどのような活動を期待しているか。

【事務局】 団体として、取り組んでいる健康づくりの紹介や、例えばウォーキング大会で休憩所の提供など地域ならではの協力を期待している。

4 市民アンケート分析

平成27年度に8,000人の市民対象に実施した『健康と安全・安心な暮らし』に関する市民アンケートの中間報告分析を委託先の長寿医療センターより説明してもらった。

有効回答数3,852(18～39歳23.2%、40～64歳43.3%、65歳以上33.6%)

【事務局】 設問によっては、39歳以下、40～64歳、65歳以上だけではない年齢構成も可能か。

【センター】 可能である。必要な設問をまとめて指示してほしい。原則数字での報告になるが、必要であればグラフでの提出も可能。

【事務局】 エリア別や年齢、性別でのクロス集計で地域差などを把握できたらと考えている。

【センター】 住居エリア別で健（検）診受診率と近隣の病院状況をみれば、医療の健康格差が確認できる可能性がある。必要なクロス集計の項目をまとめて依頼してほしい。

【事務局】 11月中にまとめて依頼する。

5 第3回協議会について

【事務局】 2月に実施予定。内容は、平成28年度の元気いっぱいサポート事業の実施報告、自殺対策計画策定の報告、平成33年度以降に食育計画を保健計画に抱合する意向について検討する。現在食育計画は独立して立案・推進しており、平成29年度に中間評価の予定。

【委員】 了承